

2019年7月12日（金）18：00～19：30
病院中央棟3階 中会議室2

末梢型肺癌に対する気管支鏡診療



浅野 文祐 先生

独立行政法人岐阜県総合医療センター
呼吸器内科 部長

ご略歴：1985年 富山医科薬科大学医学部卒、同年岐阜大学医学部第一内科入局。国立療養所岐阜病院、国立健康保険関ヶ原病院を経て、1992年岐阜県立岐阜病院 呼吸器科 部長、2006年 岐阜県総合医療センター（名称変更）呼吸器内科 部長。2013年ドイツ ハイデルベルグ大学呼吸器内科、同年岐阜県総合医療センター呼吸器内科 部長（現職）
主な所属学会・役職等：日本呼吸器内視鏡学会 理事・学術委員長、世界気管支学会理事、アジア太平洋気管支学会監事、アジア太平洋呼吸器学会気管支鏡副部長、Respirology 編集委員

ご講演の概要

末梢型肺癌の診断には、経皮生検、外科的生検に比較して合併症や侵襲が少ないことから、経気管支生検が勧められているが診断率は十分でない。近年、気管支腔内超音波断層法、ナビゲーションなどの新たな手技が行われるようになった。本講演ではこれらの新たな手技と成績、エビデンスについて説明いたします。

主催：金沢医科大学呼吸器外科学 教授 浦本秀隆
共催：北信がんプロ